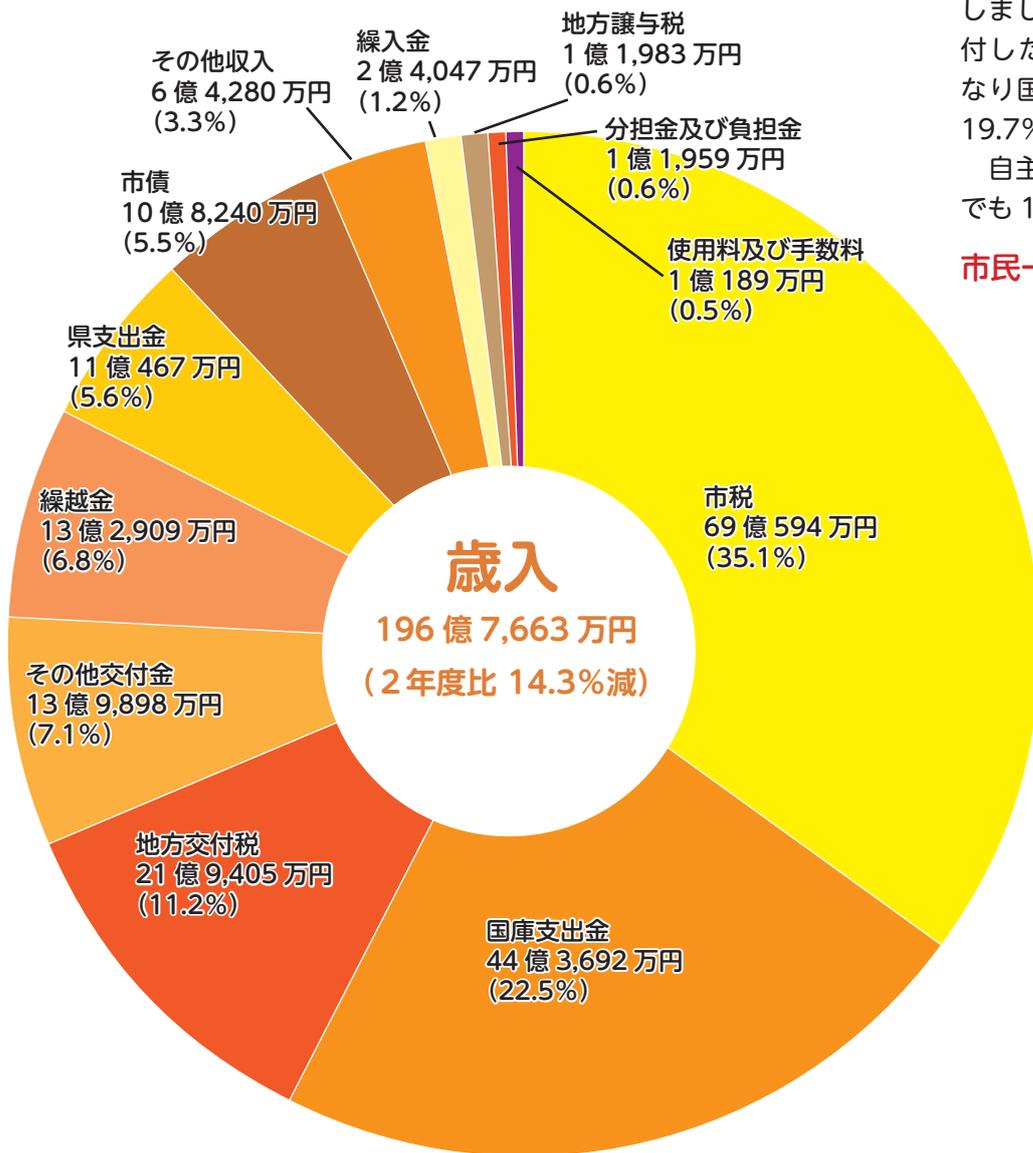


みてみよう

～令和3年度決算をお知らせします～

市の財政というと、「用語が難しくよく分からない」、「数字の規模が大きくてイメージしにくい」というようなイメージをもっている人もいないでしょうか。今回は、令和3年度の一般会計の決算をもとにできるかぎり分かりやすく皆さんに市の財政状況をお伝えします。

※より身近なものに感じていただくため、決算額を市民一人当たりへ換算しています。市民一人当たりの決算額は、それぞれの決算額を年度末現在の人口（令和4年3月31日現在 47,574人）で割った額です。



Q 一般会計って？

A 福祉や教育、ごみ処理などの基本的な行政サービスを行う会計です。現在のように行政活動が広範多岐にわたる場合には、より合理的な方法で経理を行うため、一般会計のほかに特別会計を設けています。

歳入の特徴（令和2年度比）

自主財源は、市税や繰入金が減少したことで7.4%減少しました。

依存財源は、地方交付税が大きく増加しましたが、市民一人につき10万円を給付した特別定額給付金給付事業が皆減となり国庫支出金が大きく減少したことで、19.7%減少しました。

自主財源、依存財源ともに減少し、全体でも14.3%の減少となりました。

市民一人当たり歳入額 41万3,600円

自主財源 19万6,321円

…自主的な活動で得た収入



- ・市税 14万5,162円
…市民の皆さんからいただく市民税や固定資産税など
- ・繰越金 2万7,937円
…前年度から繰り越されるお金
- ・その他収入 1万3,511円
…財産収入や預金利子、寄附金など
- ・繰入金 5,055円
…基金の繰入れ（貯金の引出し）など
- ・分担金及び負担金 2,514円
…保育園の保育料など、特定のサービスを受けた人から納められるお金
- ・使用料及び手数料 2,142円
…施設の使用料や証明発行手数料などとして納められるお金

依存財源 21万7,279円

…国や県から交付されるお金など



- ・国庫・県支出金 11万6,483円
…特定の事業に対して、国・県から交付されるお金

- ・地方交付税 4万6,119円
…行政サービスを等しく提供できるように国から交付されるお金

- ・その他交付金 2万9,406円
…国や県からの各種交付金

- ・市債 2万2,752円
…市が行う事業の財源として、国などから借り入れるお金

- ・地方譲与税 2,519円
…一定の基準で市に分配される国税

特集 岩倉市の決算を

Q 予算や決算ってよく聞くけど何なの？

A 予算は市の1年間における収入・支出の見積りであると同時に支出額と支出の内容を制限する拘束力をもっています。予算は、市長が議会に提案し、議会の議決によって成立します。対して、決算はお金の収支の結果です。

令和3年度一般会計決算

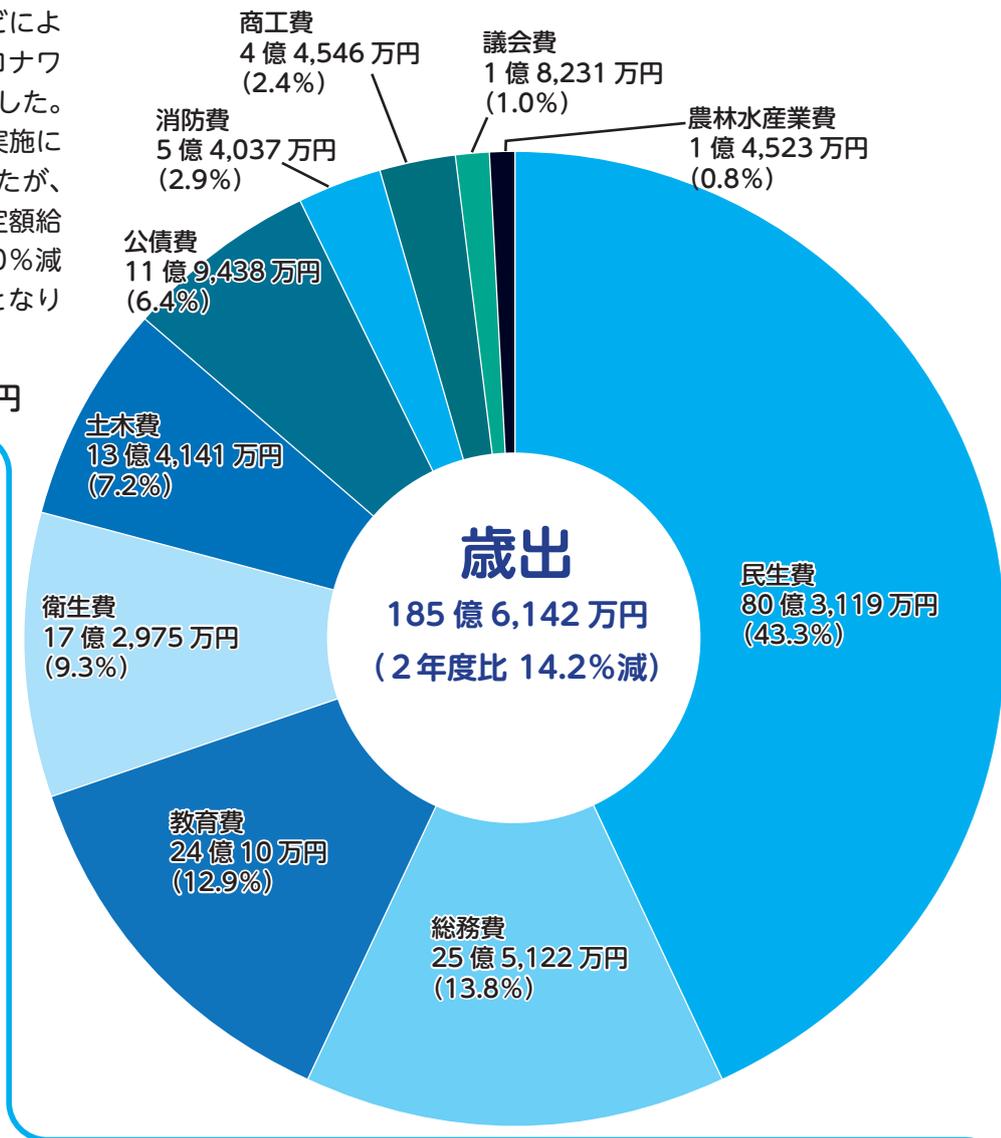
最終予算額 198億950万円
 歳入決算額 196億7,663万円
 歳出決算額 185億6,142万円
 実質収支額 11億1,521万円（黒字）

歳出の特徴（令和2年度比）

民生費では、子育て世帯や住民税非課税世帯への10万円の臨時特別給付金の支給などにより23.0%増加しました。衛生費でもコロナワクチンの接種などにより26.2%増加しました。新型コロナウイルス感染症対策事業の実施により過去2番目に多い決算額となりましたが、市民一人につき10万円を給付した特別定額給付金給付事業の皆減により総務費が64.0%減少したことで、全体では14.2%の減少となりました。

市民一人当たり歳出額 39万159円

コロナ対策事業により 過去2番目に多い決算額に



民生費 16万8,815円



…児童・高齢者・障がい者の福祉、医療や保険、生活保護などにかかる経費

総務費 5万3,626円



…企画、財政、人事、広報、選挙、戸籍、徴税、防犯、防災などにかかる経費

教育費 5万450円



…学校や図書館、スポーツ振興などにかかる経費

衛生費 3万6,359円



…保健や環境、清掃などにかかる経費

土木費 2万8,196円



…道路や橋、公園、下水道の整備などにかかる経費

公債費 2万5,106円



…市が国などから借り入れたお金の返済に充てる経費

消防費 1万1,358円



…救急や消防などにかかる経費

商工費 9,364円



…商工業、観光、消費者行政などにかかる経費

議会費 3,832円



…議員報酬や議会運営にかかる経費

農林水産業費 3,053円



…農林水産業の振興などにかかる経費

もっと教えて！ お金の使いみち

令和3年度決算のうち、皆さんの生活の身近な経費や第5次総合計画の5つの基本目標に沿って実施事業をピックアップしました。

・交通安全や防犯の推進	4,627万円
・防災対策	2,668万円
・高齢者の福祉	1億1,848万円
・保育園や認定こども園など	16億5,473万円
・ごみ処理	6億7,489万円

・五条川桜の保全	1,204万円
・道路の維持や新設など	3億5,148万円
・小学校	10億4,874万円
・中学校	1億5,389万円
・新型コロナウイルス感染症対策	18億1,321万円

健やかでいつまでも安心して暮らせるまち（健康・福祉）

・新型コロナワクチン接種事業 4億671万円



市内の医療機関での個別接種を実施するとともに、総合体育文化センターでの集団接種を行いました。

・高齢者等タクシー運賃助成事業 222万円



新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低いタクシーによる移動を支援するため、運賃を助成しました。

個性が輝き心豊かな人を育むまち（子育て・教育・文化・スポーツ）

・岩倉北小学校屋内運動場等複合施設建設事業

8億4,915万円



岩倉北小学校の屋内運動場と図書ホール、放課後児童クラブ施設などを併設した複合施設を建設しました。

・私立保育園整備費補助事業

6,350万円



社会福祉法人が保育園における3歳未満児定員を増員するにあたり、保育棟を建築した費用を補助しました。

利便性が高く魅力的で活力あふれるまち（都市基盤・産業）

・企業庁土地開発関連事業

4,164万円



立地企業への水の供給や消防水に対応するため、配水管布設工事などを行いました。

・名鉄石仏駅等整備事業

3,460万円



利便性を更に高めるため、石仏駅東広場に公衆トイレや花壇などを設置しました。

環境にやさしい うるおいあふれる安全なまち（環境・防災防犯）

・環境基本計画策定事業

197万円



環境基本計画検討委員会を設置し、市民および事業所アンケートなどを行いました。

・消防指令センター共同運用事業 4,249万円



尾張中北消防指令センターの通信指令設備および情報処理ネットワーク設備の部分更新をしました。

協働と自治による持続可能なまち（協働・行財政運営）

・市制50周年記念事業

1,530万円



各種記念事業（ギネス世界記録に挑戦、いわくら名産品開発、市民の夢協えるプロジェクトなど）を実施しました。

・シティプロモーション事業

537万円



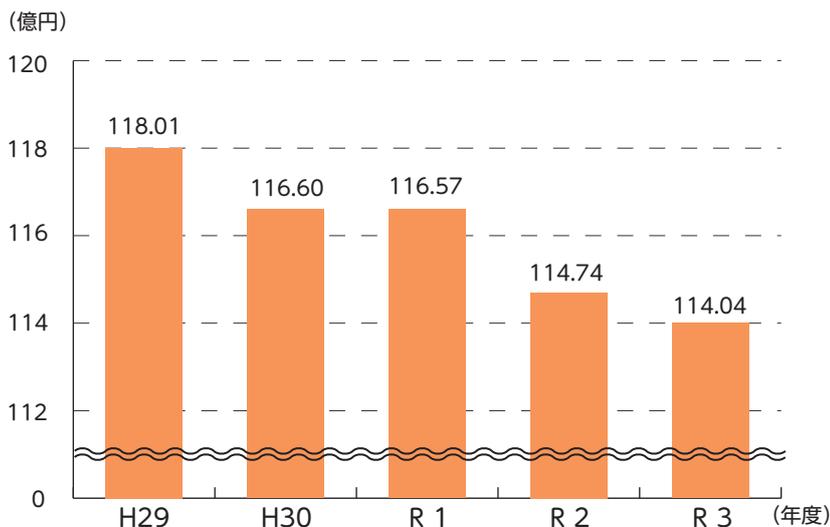
令和2年度からの2か年計画で、市民参加による市制50周年記念映像の制作に取り組みました。

令和3年度 特別会計決算状況

	特別会計合計				
	国民健康保険	土地取得	介護保険	後期高齢者医療	
予算額	84億1,186万円	40億8,702万円	2,295万円	35億4,171万円	7億6,018万円
歳入額	83億7,667万円	42億1,401万円	2,247万円	34億3,582万円	7億437万円
歳出額	80億286万円	39億9,785万円	2,247万円	32億8,401万円	6億9,853万円

市債（借金）残高の推移 少しずつ減少しています

令和3年度末 市債残高 114億365万円（市民一人当たり 23万9,703円）



過去5年の市債残高の推移を見ると、減少傾向にあります。これは、市債の発行額が元金の償還額（借金の返済費用）を上回らないよう努めてきたことによるものです。今後も市債に頼りすぎることのない健全な財政運営をしながら、将来世代へつなぐための事業を進めていく必要があります。

Q 借金しても大丈夫なの？

A 借金と聞くとあまりよくないイメージがあるかもしれませんが、公共施設などは長期間にわたって利用されるため、今の住民だけでなく、将来の世代にも公平に負担してもらうという役割があります。また、臨時財政対策債など一部の借金は返済費用が国から地方交付税というかたちで後々返ってくる場合もあります。

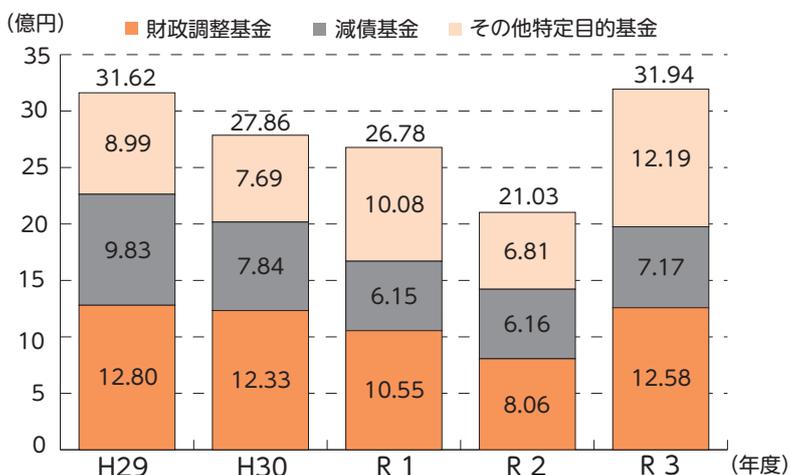
用語解説

臨時財政対策債…国が地方交付税として配るお金で、足りない分を市が代わりに借り入れるお金

基金（貯金）残高の推移 大きく増加しました

令和3年度末 基金残高 31億9,372万円（市民一人当たり 6万7,132円）

令和3年度は、岩倉北小学校屋内運動場等複合施設の建設などに充てるため2億875万円を取り崩しましたが、年度末の収支状況などにより12億9,975万円を積み立てたことで残高は大きく増加しました。今後も適切に取り崩し、将来の支出に向けて計画的に積み立てていく必要があります。



Q どうして貯金が必要なの？

A 貯金が少ないと急な出費に対応できなくなった、将来支出への不安が生じたりするため、計画的に積み立てておくことが必要になります。特に岩倉市は、昭和40年代から50年代にかけて建設した公共施設が多く、改修や更新に多くのお金が必要になります。

※令和2年度末時点の施設などの老朽化比率（時間の経過により資産価値がどのくらい減少しているかを示す比率）は60.8%となっています。

用語解説

財政調整基金…各年度間における財政調整のための基金

減債基金…市債の償還に充てるための基金

その他特定目的基金…公共施設整備基金やふるさとづくり基金、さくら基金など特定の目的に充てるための基金

健全化判断比率 実質公債費比率・将来負担比率ともに改善

地方公共団体の財政運営の健全度を示す指標として、以下の5つの指標を公表することが法律で定められています。どの指標も数値が低いほど健全度が高い(良好)とされており、各比率が基準を超えた場合は、財政健全化計画や財政再生計画を策定し、健全化に取り組みなければいけません。

実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は、これまでと同様に赤字が生じませんでした。

実質公債費比率(借金返済額/年収)、将来負担比率(借金総額/年収)は、普通交付税や臨時財政対策債発行可能額など年収にあたる部分が大きく増加したため、令和2年度から改善しました。将来負担比率は基金が増えたことで大きな改善となりました。

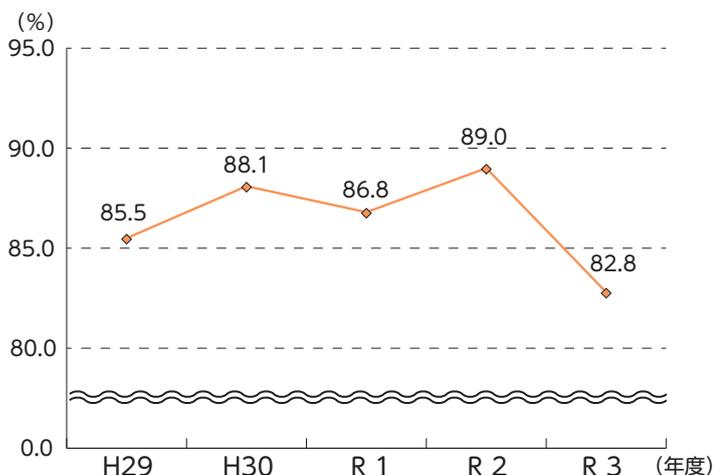
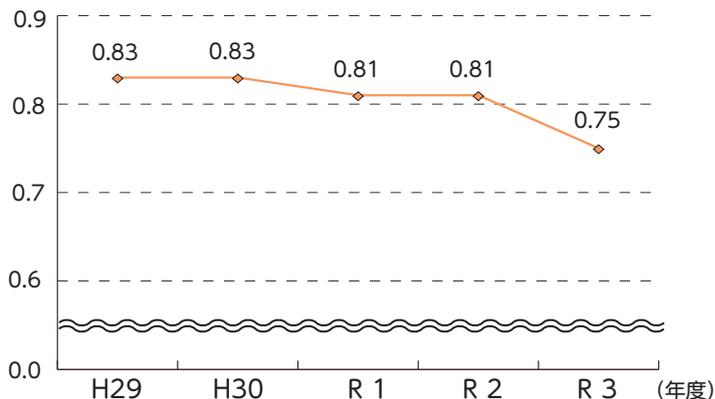
令和3年度健全化判断比率

指標	指標の意味	岩倉市 ※カッコ内は 前年度数値	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	一般会計等における財政運営の悪化度合いを示す指標	赤字なし	13.25%	20.00%
連結実質赤字比率	地方公共団体全体の財政運営の悪化度合いを示す指標	赤字なし	18.25%	30.00%
実質公債費比率 ※3か年平均値	実質的な公債費による財政負担の程度を示す指標	4.0% (4.3%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標	10.1% (26.3%)	350.0%	—
資金不足比率	公営企業の経営状態の悪化度合いを示す指標	資金不足なし	経営健全化基準 20.0%	—

財政力指数(単年度) 令和3年度 0.75

財政力指数は、通常の行政サービスを行ううえで必要となる支出(基準財政需要額)に対する、その自治体が自らの力でまかなえる市税などの収入(基準財政収入額)の割合です。この数値が大きいほど財政力が強いとされ、「1」を超えると普通交付税の不交付団体となります。

国の補正予算により、令和3年度に限り臨時の経費が創設され、基準財政需要額が増加したため、比率は0.06ポイント下がり0.75となりました。



經常収支比率 令和3年度 82.8%

經常収支比率は、毎年継続して支出されるもの(人や福祉・医療、借り入れたお金の返済などにかかるお金など)に対し、毎年継続して受けている収入(税金や交付税など)がどのくらい充てられているかを示す指標です。この比率が低いほど、財政にゆとりがあり、さまざまな状況の変化に柔軟に対応することができます。

令和3年度は、地方消費税交付金や地方交付税が増額となったことなどにより、過去5年では一番低い値となりました。

市ホームページでは、例年予算や決算、新規・主要事業の詳細などのほかに、市の資産がどのくらいあるのか、行政サービスにどのくらいのコストがかかっているのかなどを示す固定資産台帳や財務書類を掲載しています。

●問合先 行政課財政グループ (☎ 38-5804)